

事業所名 多機能型事業所ハビステひおき

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日 令和7年 2月 5日

法人（事業所）理念	様々な課題を抱えてたり着いた子ども達が、初めての体験・経験を通して成長に必要なスキルを獲得し、次の行き先に向け出発する道案内の場所。ただの通過点でも、長く留まっても旅立つまで寄り添いながら良い出発を後押ししたいとの思いで子どもたちと向き合っております。			
支援方針	子どもの成長には様々な経験が必要ですが「経験をとり入れる力」には個人で大きなばつぎがあります。そのばつぎの部分に対する評価を適切に行い、個々の能力に寄り添った支援を行うことで療育の効果を最大限に引き出します。			
営業時間	9時	0分から	18時	0分まで
送迎実施の有無		あり なし		
支援内容				
健康・生活	<p>立位保持訓練・座位保持訓練・摂食・嚥下訓練・食事動作訓練・構造化をもとに以下の個別・集団での支援をおこなう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援           <ul style="list-style-type: none"> <li>健康状態の確認：来所時の健康チェック（体調、既往歴の確認など）。必要に応じた休息スペースの提供。健康状態の把握、健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。</li> <li>健康管理の指導：手洗い、うがい、水分補給、体調不良時の対処法など、自己体調管理に向けた基本的な生活スキルの獲得、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的能力を獲得できるように支援する。</li> <li>個別課題への対応：アレルギー対応、食事介助（必要な場合）、排泄支援（必要な場合）。特性に配慮し、時間や空間を本人にわかりやすく構造化する。構造化により様々な活動を通して学習できるような環境を整える。</li> </ul> </li> <li>・集団支援           <ul style="list-style-type: none"> <li>健康教育：感染症予防、熱中症対策、食育に関する知識など、年齢に応じた健康教育を定期的に実施。</li> <li>体力向上プログラム：軽い運動、ストレッチ、体力測定などを実施し、体力維持・向上を支援。</li> <li>リラックスタイム：静かに過ごさせる時間や場所を提供し、休息やリラクゼーション方法を促す。</li> </ul> </li> </ul>			
運動・感覚	<p>年齢や発達段階に合わせた立位保持・座位保持訓練・歩行訓練・協調運動訓練・感覚統合訓練・運動・感覚活動を通して、心身機能の維持・向上、ストレス解消、集中力、学習意欲の向上を目的に個別・集団での支援をおこなう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援           <ul style="list-style-type: none"> <li>個別運動プログラム：個々の発達段階に併せて提供し、体力、運動機能、感覚の特性（過敏や鈍麻）の状態を評価し、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢、下肢の運動の改善及び習得できるような個別の運動プログラムを作成・実施。理学療法士や作業療法士等との個別・評価の実施。</li> <li>感覚活動：感覚の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行い、感覚特性に応じた落ち着ける場の提供。感覚遊びの玩具・感覚統合器具を使い、個々の感覚の特性（過敏や鈍麻）を考慮し、好みに合わせた活動の提供。</li> <li>創作・工作活動：保有する感覚の活用、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、視覚、触覚、聴覚などを刺激する創作や工作活動を個別に提供し、興味関心を広げます。</li> </ul> </li> <li>・集団支援           <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ活動：小集団で楽しめる運動遊び（粗大運動・微細運動）、ゲームを取り入れ、姿勢と運動の基本的能力の向上、体力向上、協調性、ルール遵守などを学びます。（例：転がしドッジボール、長縄跳び、フリスビーなど）</li> <li>レクリエーション活動：集団あそび、リズムック、ダンスなど、多様なレクリエーション活動を通して、表現力、コミュニケーション能力、協調性を学びます。</li> <li>戸外活動：公園での遊び、散歩など、自然に触れる機会を設け、気分転換、体力向上を図ります。</li> </ul> </li> </ul>			
本人支援	<p>認知訓練・感覚統合訓練・ビジョントレーニングに取り組み、学習スキル、問題解決力、自己コントロール力などを高め、学習意欲、自立性、社会適応性を育みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援           <ul style="list-style-type: none"> <li>学習支援：宿題、課題のサポート、苦手科目の個別指導など、学習ニーズに合わせた個別支援。学習方法の工夫、集中力向上のための環境設定等おこない支援します。</li> <li>認知課題：年齢や発達段階に合わせた課題設定をおこない、コントロールを主として（注意、記憶、思考力、言語理解、知覚）を刺激する課題を個別に提供し、認知機能の発達を促す支援を行い、認知や行動の手掛かりとなる概念の形成、物の機能や形、色、音に変化する様子、空間、時間等の概念形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとして活用できるように支援する。</li> <li>行動スキルトレーニング：行動障害への予防及び対応、感覚や認知の偏り、コミュニケーション困難から生ずる行動障害の予防、及び適切な行動への対応の支援を行う。ソーシャルストーリーの活用、スケジュールの視覚化、トークンエコノミーシステムの実施など、ポジティブな行動を促す・強化するための工夫を実施し、セルフモニタリング、自己制御スキルも同時に育んでいくような個別でのSST等を通して支援します。</li> </ul> </li> </ul>			
言語コミュニケーション	<p>言語訓練・構音訓練にとりくみ、コミュニケーションスキル、表現力、聞く力を高め、円滑な人間関係の構築に繋がるよう支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援           <ul style="list-style-type: none"> <li>個別言語療法：STと連携し、言語の形成と活用、具体的な事柄や体験とことばの意味を結び付け自発的な発声を促す支援を行う。必要に応じて個別言語療法プログラムを実施。発音、語彙、文法だけでなく、学年、年齢、必要に応じてディスカッション力、プレゼンテーション力など、より高度なコミュニケーションスキルトレーニングにも取り組みます。</li> <li>創作活動：作文、詩、絵画、音楽など、様々な表現活動を通して、話し言葉や各種の文字、記号等を用いて相手の意図を理解したり、自分の考えを伝える、自己表現などコミュニケーション能力を育む支援を行う。</li> <li>読み聞かせ：読み書き能力の向上のための支援として、特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行い、面白い物語、楽しい物語、不思議な物語、日常の出来事を読む物語など個々が興味がある本を題材とし、使ってそれをもとに、読解力、語彙力、ディスカッション能力を高めます。</li> </ul> </li> </ul>			
人間関係社会性	<p>レクリエーション活動やソーシャルスキルトレーニングを通して、他者との良好な繋がりを育み、円滑なコミュニケーションを通して、集団への適応力を高めることで、社会の中でいきいきと活躍できる力を養います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学童期から高学年期にかけては、友人関係がより複雑になり、自己肯定感や所属意識が重要になる時期です。この時期に必要な対人関係スキルと社会適応力を育成することを目標とします。</li> <li>・個別支援           <ul style="list-style-type: none"> <li>友情育成サポート：周囲に無関心である1人遊びの状態から並行遊び・協同遊びを通して徐々に社会性の発達を支援し、友達作りの悩み相談、友人関係のトラブル解決支援、仲間に入るための具体的なステップの練習（集団に参加するための手順やルールを理解）など、集団活動への参加や、より親密な人間関係を築くための個別サポートを行います。</li> <li>ソーシャルスキル・トレーニング（SST）の個別化：SSTの内容を個別の課題に合わせてカスタマイズし、ロールプレイやモデリングを通して、場面に応じた適切な対人行動を練習します。学年や個々に応じて思春期特有の感情の揺れや葛藤に対応できるよう、大人を介在して、自分のことができることできないことなど自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように感情コントロールやストレスマネジメントのスキルも重点的に扱い支援します。</li> <li>感情理解と表現の個別指導：自分の感情を正確に理解し、言葉や態度で適切に表現する練習を行います。共感性を高めるために、他者の感情を推測する練習や、感情カードを使ったゲームなども取り入れます。</li> <li>ピア・インタラクション促進：個別で、意図的に他児との交流機会を設け、遊びや共同活動を通して自然な対人交流を促します。スタッフが仲介役となり、会話のきっかけ作りや遊びのルール説明などをサポートします。</li> </ul> </li> <li>・集団支援           <ul style="list-style-type: none"> <li>SST：年齢に応じた内容にて、集団SSTを実施し、ロールプレイやゲーム形式で協力、分担、譲り合い、励まし合いといった協調性を必要とする活動を多く取り入れます。成功体験を積み重ねることで、自信と達成感を育みながらソーシャルスキルを学びます。</li> </ul> </li> </ul>			
家族支援	<p>家族支援プログラムの実施 保護者相談（悩みや不安、サービス利用に関する相談に加え、進路、卒業後の生活設計など、将来に関する相談にも対応。） Instagramでの情報発信</p>	移行支援		<p>移行支援シート作成：個々の利用児の発達段階や課題、進路希望などを考慮し、本人、保護者、関係機関と連携して移行支援シートを作成。 進路相談：進路に関する相談窓口を強化。専門的な進路相談を提供。進路情報提供、見学同行、体験入学サポートに加え、面接練習、履歴書作成サポート、就労体験の情報提供など、より実践的な支援の提供。 関係機関との連携：次のステージの関係機関（学校、施設、事業所など）と連携し、利用児の情報や支援計画などを丁寧に引継ぎをおこなう。 移行準備プログラム：移行期に必要なスキル習得プログラムを実施。新しい環境への適応練習、生活スキルトレーニング、コミュニケーションスキルトレーニング・進路選択、就労準備などライフスキルトレーニングの習得を重点的に実施。</p>
地域支援・地域連携	<p>協議会等への参加 要保護児童対策地域協議会等への参加 実習・ボランティア受け入れ</p>	職員の質の向上		<p>法人内公開療育 PT・OT・ST事業所内研修 職員スキルアップ研修 人権擁護研修 感染対策研修 虐待防止防止研修 避難訓練</p>
主な行事等	<p>スポーツ大会 避難訓練</p>			